



広報

皆さんと村を結ぶ架け橋

しむかっぷ

9

2024
No.801



特集 第50回占冠村

ふるさと祭り



自然体感占冠
Shimukappu/Hokkaido

第50回 占冠村ふるさと祭り



今年で第50回という記念すべき節目を迎えた「占冠村ふるさと祭り」——。8月10日・11日の2日間にわたり、占冠村農村公園で盛大に開催されました。

前夜祭 8/10土

南富良野町ダンスチームによる元気いっぱいダンスで開幕した前夜祭。その後フラダンスサークルレイアロハによるダンスで会場は南国ムードに包まれました。

お楽しみ抽選会では、村内宿泊施設の宿泊券や村の特産品など約120個の景品が用意され、例年以上の数の多さに会場からは喜びの声も。多くの当選者の笑顔が見られました。

前夜祭を締めくくったのは至近距離で打ち上がる約1000発の花火。迫力満点の光景に会場からは拍手喝采。多くの方に喜んでいただきました。



①



④



③



⑥



⑨



⑧



②



⑤



⑦



⑩

①優雅で華麗なフラダンス。会場はゆったりとした南国ムードに包まれました。②元気いっぱいのダンスに会場もノリノリに。③お祭りの定番ヨーヨー釣りは子どもたちに人気です。④占冠の森を感じるお酒「ルプノモリ」のお披露目が。新たな特産品にご注目を。⑤今年もたくさんの来場者でにぎわいました。⑥連合占冠の名物ジャンボ豚串「竹豚棒」が今年も登場。⑦第50回を祝い大きな声で乾杯。暑い夏に冷えたビールは最高ですね。⑧お楽しみ抽選会で当選番号を読み上げる北海道観光大使の大橋二三子さん(写真右)と村ALTのグレイソンさん(写真左)。⑨景品ゲットで満面の笑顔。ご当選おめでとうございます。⑩フィナーレを飾ったのは至近距離で打ち上がる約1000発の花火。夏の夜空をきれいに彩りました。



毎年 年8月、前夜祭・本祭の2日間、わたって開催される占冠村最大のお祭り「占冠村ふるさと祭り」。今年で第50回の節目を迎え、会場には約6千人が来場しました。この記念すべき節目を祝い、さまざまな催しが行われた今年のふるさと祭り。村の新たな特産品として開発されたお酒「ルプノモリTSUKI」と「ルプノモリHI」のお披露目や、今年の6月に開催された「第10回山菜料理コンクール」の特別賞受賞作品「山菜たっぷり肉まんじゅう」の無料配布が行われるなど、ご当地グルメ「占冠和牛ローストビーフ」をはじめ、ふるさと占冠の味覚を存分に堪能できるお祭りとなりました。

また、村のご当地キャラクター「しむかっぴー」が今年の8月で10歳になりました。近隣の自治体からも8体のご当地キャラクターが駆けつけ、会場の皆さんと誕生日を盛大に祝いました。ふるさと祭りの最後は、スペシャルゲストとしてお迎えした演歌歌手の「水谷千重子さん」、歌手や女優などとして活躍中の「はいだしょうこさん」によるステージショーが行われ、会場のボルテージは最高潮に。お二人の美しい歌声と楽しいトークに、大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

前夜祭・本祭ともに例年以上に活気にあふれ、大いに盛り上がったふるさと祭り。皆さんにとっても忘れられない夏になったのではないのでしょうか。



①ふるさと祭り名物「占冠和牛ローストビーフ」。②前夜祭に引き続き会場は多くの来場者でびっしり。③抜群のコンビネーションで餅つきを披露。つきたてのお餅は会場の皆さんに振る舞われました。④伝統芸能「占冠神楽」の演目「大蛇(おろち)」の披露。⑤ご当地キャラクターたちとのふれあいタイム。抱き着いたり記念撮影を楽しむ様子も。⑥⑦ヒグマの資料展示や射的が楽しめる「ヒグマテント」。浦田野生鳥獣専門員からコツを教わり、射的を楽しむ子どもたち。⑧おなじみの「占冠音頭」を会場の皆さんと一緒に。⑨⑩お宝GETで豪華景品ゲット。⑪「山菜たっぷり肉まんじゅう」の無料配布。エゾシカ肉の使用など、より占冠らしいアレンジが加えられて提供されました。⑫恒例のクライミング体験。講師の長谷川勘太郎さんの指導にも熱が入ります。

本祭は、子ども向けのゲーム「お宝GET」からスタート。景品を手にするの表情を浮かべる子どもたちの姿が見られました。

続くステージイベントでは、占冠神楽保存会による伝統芸能「占冠神楽」の披露が行われ、暑さに負けず熱い舞を見せてくれました。

その後はふるさと祭りでおなじみの「占冠音頭」を会場の皆さんと一緒に踊ったり、ご当地キャラクター「しむかっぴー」をはじめ、近隣自治体から駆けつけたご当地キャラクターたちとの「ふれあいタイム」を楽しみました。

2014年開催のふるさと祭りではデビューを果たし、今年で10歳になったしむかっぴー。会場の皆さんから祝福され全体で喜びを表現したり、記念撮影を楽しむなど、誕生日を満喫している様子でした。

2日間にわたるお祭りのラストには、スペシャルゲストの「水谷千重子さん」「はいだしょうこさん」が登場。お二人のステージショーに会場は興奮の渦に包まれ、ふるさと祭りは大盛況のうちに幕を閉じました。

無事記念すべき節目を盛大に祝うことができたふるさと祭り。一緒に盛り上げてくださった皆さんに心より感謝申し上げます。



スペシャルステージショー

ふるさと祭りの最後を締めくくったのは、スペシャルゲストとしてお迎えした「水谷千重子さん」と「はいだしょうこさん」によるステージショー。これまでにないほど多くの方々が会場に詰めかけ、お二人の歌やトークで大いに盛り上がりました。



近隣自治体からのご当地キャラクター紹介

かけまる君(美瑛町)、らべとん(上富良野町) ラベンダーの妖精(中富良野町)、へそ丸(富良野市) 南ちゃん(南富良野町)、クルミちゃん(日高町) むかるん(むかわ町)、ビラッキー(平取町)



昭和60年3月に平和の村宣言を採択して以降、「占冠村教育を語る住民会議」が中心となり、ヒロシマ・ナガサキの惨劇を絶対に繰り返さず核も戦争もない平和な社会を願い、村内の中学生を広島県に派遣する「広島平和体験学習事業」を行っています。今回は生徒2人・引率2人が参加しました。ヒロシマの地から学んだことや感じたことを報告していただきます。

第38回 広島平和体験学習

「広島が乗り越えた壁」
占冠中2年 伊達 充寛

私は、今回の広島平和体験学習で原爆に対する恐怖を感じました。建物や人、動物など、何もかもを「瞬」にして吹き飛ばしました。この「瞬」の中には、さまざまな出来事があったそうです。

まず、米国軍の飛行機B29が投下した原子爆弾「リトル・ボーイ」が小さな赤い太陽を生みました。その後すぐにとても閃光と爆音が広島に行き渡りました。これを「ピカドン」と言います。そしてピカドンの後には、熱線と熱風、放射線が全てを焼き払いました。建物はコンクリートでも関係なく破壊され、人々は3000、4000度の熱風などを受けたため、皮膚が溶けたり、顔をやけどしたりしました。もちろん爆風で亡くなった人も多いのですが、一番はその後水を飲んでしまい亡くなる人が多かったそうです。人々はいままでの熱さに水のことしか考えられず、家の近くにある防火水槽や川に飛び込みました。水を飲んだ人は一人残らず死に至りました。川は死体で埋め尽くされました。広島

は地獄へと一変したのです。たった一つの爆弾が、地獄を創り出したのです。地獄を免れた人も体に紫色の斑点ができ、死に至りました。

私は、今回の平和体験学習で、広島の人々が地獄のような壁を乗り越えたことに非常に驚きました。広島の人々は家族やお金を失い、生きていくことが困難で苦痛だっただろうと私は思います。しかし、それでも諦めず、他の場所から援助を受け、今の広島があるのです。私は広島で命と平和の尊さを改めて実感しました。

平和体験学習を終えて
トマム学校8年

関谷 壮恭

平和体験学習で私たちは最初に原爆ドームに行きました。そこでは教科書でしか見たことのない世界がありました。とても頑丈そうな分厚いコンクリートの柱や壁がまるでおもちやのように崩れてしまっていることにとても驚きました。その後資料館に入ると、その場にいた人々の声や状況の資料がたくさん残っていて、原爆ドームを見て感じた原爆の怖さをさらに倍増させ

せるような光景が広がっていました。教科書などで戦争、原爆の悲惨さは知っていたつもりでしたが、実際に見てみるとその悲惨さは倍以上でした。その後被爆体験を実際にされた方からお話を聞きました。実際に経験された方は広島には約30人しか残っていないらしく、とても貴重な体験で被爆体験証言者の原爆への思いはとても強くに残りました。

そして2日目は現在残っている被爆建物を巡りました。被爆建物は都会な広島の中にたくさん残っていて、とても大切にされていることが伝わってきました。このように大切に守ってくれているおかげで私たちが原爆の悲惨さを忘れることなく感じることできていますので、これからも大切に保存していけるといいと思います。

このように実際に原爆が落ちた地「広島」に行ったら教科書や動画からだけでは分からない人々の声やその時の状況が理解できました。そしていかに戦争が残酷なもので繰り返してはいけないものなのかが分かりました。

原爆死没者慰霊碑に書かれている「安らかに眠って下さ

初めに原爆ドームを見た。感想としては、「教科書やニュースで見た本物だ」だった。厳かな雰囲気を感じ、集合写真を撮る際には「笑っていないのかな?」と居心地の悪さを感じた。原爆の子の像を見た。飾られた折り鶴の数に驚いた。慰霊碑を見た。覗き込んだまっすぐ先に原爆ドームが見える作りになっていた。平和資料館を見学した。海外

の方も多い印象だった。人々の戦争への関心の高さに驚いた。戦争というものを、はっきりと鮮明に捉えている。私にはぼんやりとしか見えていなかった。

被爆証言者の佐渡さんのお話を聞いた。原爆ドームは「産業奨励館」と呼ばれ、佐渡さんはそこでの楽しい思い出をお話してくださいました。そんな日常が一瞬で、悲惨な非日常になってしまいう過程をリアルに感じた。私の中で色のある日常と白黒写真が繋がった。

被爆建物巡りでは、新しい町並みの中に、当時の建物の一部が残っていた。残されていた。慰霊碑からまっすぐに原爆ドームが見えたときの不思議な気持ちとつながった。たくさんの方が、「当時の広

い 過ちは繰返させぬから」。この言葉をいつまでも大切に忘れることなく伝えていく、そしてこの願いが叶うようにしていこうと思いました。

広島を訪れて
引率者(保護者) 関谷 佑佳理

私自身、広島を訪れたのは二度目です。

一度目は小学校の修学旅行でした。もちろん、平和学習で原爆ドームや平和記念公園を訪れたとは思いますが、正直どのような内容だったのか覚えていません。小学校の修学旅行以来の広島訪問でしたが、戦争や平和について考える機会となり、いままでに感じるこのできなかった思いを感じるようになりました。



佐渡さんは、自ら被爆体験を伝える「被爆体験証言者」で、現在は30人ほどしかおられないとのこと。実際に被爆された体験を聞いたことは、大変貴重な経験だと改めて感じました。

佐渡さんは、自ら被爆体験

広島平和体験学習引率を通して

引率者(教諭) 長瀬 桃果

北海道生まれ、北海道育ちの私にとって、戦争とは教科書の中にしかないもの、遠い昔の、白黒写真のようなものだった。毎年夏の報道で、「戦後何十年」という数字が増えていくなど感じる程度だった。

原子爆弾の開発と投下



令和5年度 しむかっぷ・村づくり寄附金の実績

「しむかっぷ・村づくり寄附金」は、持続可能で元気な村づくりをめざし、占冠村が掲げる重点施策を推進するために募集する寄附金（ふるさと納税）です。この寄附金は、特定目的基金に積み立て、各事業に有効に活用させていただきます。

令和5年度の寄付金額 **9,032万5千円**

《内 訳》

活用先	件 数	金 額
子育てや人づくりの推進	296件	3,893万円
林業の振興	35件	229万円
農業の振興	35件	297万8千円
福祉の増進	17件	302万8千円
環境保全と観光の振興	94件	1,609万6千円
使い道は指定しない(村長におまかせ)	192件	2,700万3千円



子育て



林業



環境保全

皆さまからの温かい
ご寄付に感謝いたします



《過去3年度分の実績》

年 度	件 数	金 額
令和3年度	335件	1,376万8千円
令和4年度	409件	2,073万円
令和5年度	669件	9,032万5千円

《返礼品別の寄付金額（上位3位のみ抜粋）》

返礼品	件 数	金 額
星野リゾート トマム ふるさと納税宿泊 ギフト券3万円分	569件	6,031万4千円
楽天トラベルクーポン 30万円分	7件	700万円
メープルシロップ	205件	410万円

企画商工課企画担当 ☎ 56-2124

国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ

保険料の後払い(追納)をお勧めします！

国民年金保険料の免除(全額免除・一部免除・法定免除)、納付猶予、学生納付特例の承認を受けた期間があると、保険料を全額納めたときと比べ、老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)の受取額が少なくなります。しかし、免除等期間の保険料は、10年以内であればさかのぼって納めること(追納)ができます。また、社会保険料控除により、所得税・住民税が軽減されますので、ぜひ、保険料の追納をお勧めします。

《令和6年度中に追納していただく際の月額保険料》

期 間	全額免除 法定免除 納付猶予 学生納付特例	一部免除				備 考
		3/4免除	半額免除	1/4免除		
H26.4月～H27.3月分	15,460円	11,600円	7,730円	3,860円		
H27.4月～H28.3月分	15,790円	11,840円	7,890円	3,950円		
H28.4月～H29.3月分	16,460円	12,340円	8,230円	4,110円		
H29.4月～H30.3月分	16,670円	12,510円	8,330円	4,170円		
H30.4月～H31.3月分	16,500円	12,370円	8,250円	4,120円		
H31.4月～R2.3月分	16,560円	12,420円	8,270円	4,140円		
R2.4月～R3.3月分	16,670円	12,500円	8,340円	4,160円		
R3.4月～R4.3月分	16,710円	12,530円	8,350円	4,170円		
R4.4月～R5.3月分	16,590円	12,440円	8,290円	4,150円		
R5.4月～R6.3月分	16,520円	12,390円	8,260円	4,130円		追納加算額はありせん

※注意事項※

- ◎一部免除を受けた期間は、納付すべき保険料が納付されていないと追納できません。
- ◎老齢基礎年金を受給できる方は追納できません。
- ◎追納は、免除等を受けた期間のうち、古い期間の保険料から納めてください。
- ◎免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して3年度目以降の追納の場合、当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされます。
- ◎役場窓口または年金事務所で申し込み可能です。申請書は窓口にあります。

住民課戸籍担当 ☎ 56-2123

地域おこし協力隊 新隊員のご紹介

地域活性化の担い手「地域おこし協力隊」。
今年度新たに4人の隊員が着任し、本村の地域
おこし協力隊は6人体制となりました。
仲間に加わった新隊員4人をご紹介します。
※着任順に掲載

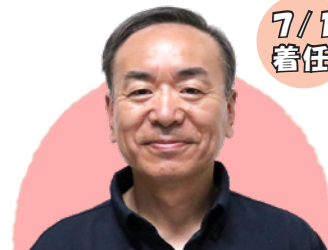
6/1
着任



たなか ひとし
田中 仁 隊員
所属：企画商工課商工観光担当

皆さまはじめまして。北海道
恵庭市より来た田中仁と申しま
す。企画商工課に配属となり、
(株)占冠山村産業振興公社でお世
話になっています。
占冠村に来て約2カ月がたち
生活もやっと落ち着いてきた状
況です。今までの職務で工場
の工作经验がなく戸惑うことが
多かったのですが、工場スタッ
フの方々に丁寧にお教えいた
だき、働きやすい環境で仕事が
できております。
業務は体力的にとっても大変な
のですが、7月に一山越えた状
態ですので、これからは11月、
12月の繁忙期に向けて私の業務
成果を上げていきたいと思いま
す。
まずは工場全作業を1年以内
に習得することを目標にし、次
のステップとして商品開発・販
路開拓に取り組み、地域おこし
協力隊の一人として貢献できる
よう努めたいと思います。今後
ともどうぞよろしくお願い申し
上げます。

7/1
着任



すずき ともかず
鈴木 知克 隊員
所属：企画商工課商工観光担当

皆さんこんにちは。札幌市出
身の鈴木知克です。企画商工課
に配属となり、占冠・村づくり
観光協会で勤務しています。
道の駅自然体感しむかっぷで
カウンター勤務、赤岩青巖峡で
管理人を担当しています。
赤岩青巖峡は、名前の通り赤
や青の奇岩や巨岩が並ぶ峡谷で
す。色のついた岩は古代の時代
に生れたものであり、珍しく
美しい景色を楽しめます。
散策以外にも、ロッククライ
ミングやラフティングの場所と
して人気があります。
その場所で管理人を担当して
訪れる人たちと直接触れ合い、
占冠村の魅力を伝えながら日々
楽しく仕事をしています。
占冠村のキャッチフレーズ
「自然体感占冠」を一人でも多
くの人に伝えていくことを使命
としてこれからも頑張ります。
今後ともよろしくお願いいたし
ます。

8/1
着任



まやま ゆうた
眞山 裕太 隊員
所属：企画商工課商工観光担当

皆さんはじめまして。札幌市
から来た眞山裕太です。(株)占冠
山村産業振興公社で日々山菜の
加工業務に励んでいます。
祖母が農家ということもあり、
幼少期から山菜を採りに行
くなど山菜は身近にある食べ
物でした。採った山菜を祖母が天
ぶらや炒め物等にしてくれてい
ましたが、もつといいい食
べがあるのではないかと思っ
ていました。そんな中、山菜加工
にも力を入れている占冠村を
観光で訪れ、自然が近くにある
場所で大好きな山菜に携われる
ことがしたいと思い今回応募し
ました。
商品開発では、老若男女問
ず喜ばれる商品を作れるよう
全力で頑張ります。おいしい山
菜を北海道だけではなく全国の
方にも知ってもらえるようSNS
を使った宣伝や、各地イベント
にも積極的に参加して占冠村を
盛り上げたいと思います。
未熟ですが全力で頑張ります
のでよろしくお願い致します。

8/1
着任



いりふね あやか
入船 彩賀 隊員
所属：福祉子育て支援課子育て支援室

皆さんはじめまして。福祉子
育て支援課に配属となり、占冠
保育所で勤務している入船彩賀
と申します。
札幌市から来ました。現在は
保育士の資格取得に向けて学
びながら、保育所の先生の補助
をしています。
自然が豊かな地域での生活に
憧れがあり、何度か観光で占冠
村を訪れるたびに自然に囲ま
れた地域に移住したいという気持
ちが強くなりました。その中で
も「自然体感占冠」とあるよう
に面積の約9割が森林に囲ま
れている占冠村で、このたび地域
おこし協力隊として地域を盛り
上げながら暮らせるようにな
ったことがとてもうれしいです。
未熟な部分はありますが、占
冠村の住民の皆さんの思いに添
った活動を私自身もさまざまな
学びを得ながら試行錯誤して頑
張ってまいりますので、今後と
もどうぞよろしくお願いしま
す。



8/8 木



ルプノモリTSUKI

村のアカエソマツ新芽とイタヤカエデ樹液を使用して作られた「クラフトジン」

ルプノモリHI

クラフトジンにメープルシロップ「トベニワッカ」を加えた「クラフトリキュール」



ルプノモリを紹介する田中慧さん

占冠の森を感じるお酒が誕生 ルプノモリ製品発表会

占冠村コミュニティプラザで、占冠の新たな特産品「ルプノモリ TSUKI」「ルプノモリ HI」が関係者らにお披露目されました。本製品はメープルシロップ「トベニワッカ」を使うなど、占冠村の森の恵みを生かした特徴的なお酒です。8月10日より道の駅内の店舗で販売が始まっていますので、ぜひ一度占冠の森を感じるお酒をご賞味ください。

7/31 水



10年の節目をにぎやかに祝う とま〜る10周年夏祭り

占冠村小規模多機能型居宅介護施設「とま〜る」で夏祭りが開催されました。開設10周年を迎えた今年はラーメン店などの出店もあり、会場は多くの来場者でにぎわいました。地域の子どもたちも遊びに来て、利用者の皆さんと射的やスマートボール、紙のやぐらを積み上げて点数を競う「ぐらぐらやぐら大会」などのゲームをしながら交流を楽しんでいました。



8/20 火



納涼盆踊り大会

自慢の仮装と踊りを披露

占冠村農村公園で連合北海道占冠地区連合会主催の「納涼盆踊り大会」が開催され、多くの村民やお隣り日高町からも踊り手が集いました。参加した子にお菓子がもらえる「子ども盆踊り」、自慢の仮装と踊りを競い合う「懸賞盆踊り大会」とともに大いに盛り上がり、終始笑顔と活気にあふれた盆踊り大会は盛況のうちに幕を閉じました。

8/17 土



全道トンコリ大会優勝者が登場 アラヤタツロウ「トンコリLIVE」

占冠村コミュニティプラザで、アイヌ伝統の弦楽器「トンコリ」を奏でる吟遊詩人アラヤタツロウさんのライブが行われました。第19回全道トンコリ大会の優勝者でもあるアラヤさん。世界平和や環境保護などをテーマとした楽曲が披露され、来場した約40人がアラヤさんの歌声とトンコリの音色に終始聴き入り、リズムに合わせて体を揺らして楽しんでいました。

8/9 金



戦争の惨禍を語り継ぐため 平和を考える映画会

占冠村コミュニティプラザで、占冠村教育を語る住民会議主催の「平和を考える映画会」が開催されました。映画鑑賞の前段には、第38回広島平和体験学習の参加者から「ヒロシマの地」で経験したことについて発表があり、出席した約30人が耳を傾けました。その後アニメ映画「ヒロシマに一番電車が走った」の鑑賞を通じて平和について考えました。

7/24 水



平和への思いを走りつなぐ 反核平和の火リレー

上富良野町から占冠村の区間において、核も戦争もない平和な社会の実現を訴えながら平和の火を走りつなぐ「第36回反核平和の火リレー」が実施されました。村内の青年女性や広島平和体験学習に参加する中学生がランナーとして参加し、占冠村総合センター前で行われた到着集会の場で日高町のランナーへと無事平和の火を引き継ぐことができました。

⚠ 台風への備え、できていますか？

平成28年8月、北海道に次々と台風が接近・上陸して甚大な被害となったことは記憶に新しいところですが、過去に日本で大きな災害をもたらした台風の多くは9月に来襲しています。この時期は、夏に日本付近を覆っていた太平洋高気圧がやや後退して台風が日本に近づきやすく、海水温が年間を通して最も高い時期に当たり台風が発達しやすくなっています。

台風による被害を防ぐには、平時のうちにハザードマップで避難の場所や避難経路を確認しておくことはもちろんのこと、側溝や排水溝を掃除し水はけを良くしておくことや、風で飛ばされそうな物の固定や屋内移動が大切です。

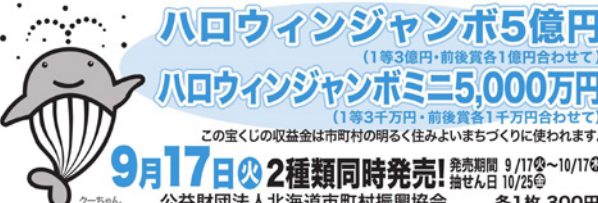
そして、台風が接近してきた時には、気象台が発表する「警報・注意報」「キキクル」などの防災気象情報や、自治体から出される「避難情報」を自ら入手し、暴風や大雨となる前に早めの避難を判断し、身の安全を確保してください。

旭川地方気象台

検索

台風情報

☎ 旭川地方気象台 ☎ 0166 - 32 - 7102



💡 個別的労使紛争あっせん制度のご案内

解雇や賃金未払い、ハラスメントなどの労働問題で悩んでいませんか？

北海道労働委員会では、労働問題に詳しい経験豊かな「あっせん員」が、当事者双方からお話を伺い、問題点を整理した上で助言等を行い、歩み寄りによる解決を図る「あっせん」を行っております。「あっせん」の利用は無料で、迅速な解決をめざします。

北海道労働委員会 個別あっせん

検索

☎ 北海道労働委員会事務局調整課

☎ 011 - 204 - 5667

💡 富良野調停協会からのお知らせ ～遺産分割調停について～

相続登記が令和6年4月1日から義務化されました。土地・建物を相続したものの、相続人間の遺産分割協議がまとまらず、相続登記ができない方は、家庭裁判所の調停手続きを利用する方法があります。

調停の申し立てなど手続きについては、旭川家庭裁判所富良野出張所（☎ 22 - 2209）にお問い合わせください。

法律上の相談をしたい方は、沿線無料法律相談（予約は富良野市市民相談室☎ 23 - 1235）や、経済的に困りの方は、法テラス旭川の民事法律扶助による無料法律相談（一般法律相談援助、収入などの一定の要件あり。予約などは☎ 0570 - 078 - 391）で相談することも可能です。

💡 遺言と相続登記に関するセミナー

相続や遺言書について、公証人・司法書士による講演や無料相談会（予約制）を行います。

相続登記や遺言書の作成を考えている方は、ぜひご参加ください。

日 時 10月6日(日)
午前9時30分～午後3時30分
場 所 旭川市宮前1条3丁目3番15号
旭川合同庁舎
定 員 40人（事前申し込み先着順）
参加料 無料

◎詳しくは旭川地方法務局ホームページをご覧ください。

旭川地方法務局

検索



遺言書はかんガルー



💡 生活・仕事相談会を開催します

日 時 9月25日(水)
①10時00分～10時50分
②11時00分～11時50分
場 所 占冠村役場
対象者 生活の中で「どうしたらよいか分からない」ことがある方
申 込 9月24日(火)の午後3時までに
電話、FAX、メールで予約してください。
相談料 無料

☎ かみかわ生活あんしんセンター

☎ 0166 - 38 - 8800 FAX 0166 - 33 - 0021

メール anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

⚠ 9月24日～30日は結核予防週間 ～長引くせき、微熱に注意!!～

結核は過去の病気と思われがちですが、日本でも1日に28人が結核を発病し、5人が命を落としている重大な感染症です。

症状は風邪と似ていますが、2週間以上せきが長く、タンが出る、体がだるい、微熱が続くといった症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

小児では症状が現れにくく、重篤な状態になりやすいため、遅くても1歳までにBCGの予防接種をしておきましょう。

成人では、定期的な胸部X線検査が結核の発見に有効といわれています。年に1回は定期健診で胸部X線検査を受けましょう。各市町村の肺がん検診も有効です。

☎ 富良野保健所健康推進課健康支援係 ☎ 23 - 3161

💡 アイヌの方々からのさまざまなご相談をお受けします～相談専用電話～

公益財団法人人材教育啓発推進センターでは、アイヌの方々のご相談をお受けするフリーダイヤルを開設しています。日常生活でお困りのこと、嫌がらせ、差別、プライバシー侵害など何でもご相談ください。

相談専用電話

フリーダイヤル 0120 - 771 - 208

受 付 月曜日～金曜日（祝日、12/29～1/3を除く）

時 間 午前9時～午後5時

●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守

◆本相談事業は、（公財）人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

■入 居 資 格

次の条件を満たす方が申し込むことができます。

- 占冠村にお住まいの方、村外から移住される方
- 月収が15万8,000円以下の方

（例えば、給与収入者で扶養家族がある場合、源泉徴収票の給与所得控除後の金額から同居扶養控除等の金額を引き、残りの額を12カ月で割った金額が15万8,000円以下の方）

※敷金の納入が必要です。

※連帯保証人が2人必要です。

★入居者と同等以上の収入のある方

■家 賃 入居される世帯の収入等に応じて決定されます。

■入 居 可 能 日 おおむね10月1日(火)

■入 居 決 定 入居者選考委員会の審査によります。

■申込受付場所 建設課建築担当

トマム支所

■お問い合わせ 建設課建築担当 ☎ 56 - 2172

村営住宅等入居者募集のご案内

募集団地	受付期限 9月17日(火)		
●中央地区	4戸		
	○中央団地	2LDK	2戸
		3LDK	1戸
	○第2千歳団地	4LDK	1戸
※第2千歳団地は所得基準が異なります。 詳しくは建設課建築担当へお問い合わせください。			
●トマム地区	1戸		
	○第2トマム団地	3LDK	1戸

運転免許更新時講習会

会場：富良野市ふれあいセンター
富良野市春日町12番5号

■優良講習（30分）

◎9月5日(木) 13時～

◎9月13日(金) 13時～

■一般講習（1時間）

◎9月5日(木) 14時～

◎9月13日(金) 14時～

■初回講習（2時間）

◎9月10日(火) 13時～

■違反講習（2時間）

◎9月24日(火) 13時～

※警察署等で更新手続きを終えていなければ、更新時講習は受講できません。

☎ 富良野警察署交通課 ☎ 22 - 0110

占冠村の放射線量の状況（8月分）

測定日 令和6年8月15日(木)

【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値
中央小学校グラウンド	14時40分	晴	0.030
双民館グラウンド	14時30分	晴	0.035
占冠地域交流館グラウンド	14時15分	晴	0.035
占冠保育所グラウンド	14時21分	晴	0.034
トマム学校グラウンド	13時47分	晴	0.024
トマム保育所グラウンド	13時44分	晴	0.026

※北海道の空間放射線量率モニタリング結果（上川総合振興局 0.021～0.098）と比較して平常レベルと判断されます。「北海道の空間放射線量率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。

『環境放射線測定結果【北海道立衛生研究所】』

http://www.iph.pref.hokkaido.jp

☎ 総務課総務担当 ☎ 56 - 2121



火災・救急・救助 119

消防瓦版纏

まとい

No.431

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

ホームタンクの点検をして油漏れを防ごう！

近年、ホームタンクの老朽化や地震、落雪等の影響により、家庭や事業所に設置されているホームタンクから油漏れ事故が発生しています。油漏れ事故が起ると、火災発生の危険性が増えるだけでなく、水質・土壌汚染を引き起こし、人の生活や動植物にも被害を及ぼす可能性があります。また、事故処理にかかる費用は全て原因者が負担することになり、数十万から数百万円と高額になる場合もあります。さらには給油中にそばを離れ、操作ミスによる油漏れも数多く報告されております。

いま一度、ホームタンクの自主点検、また3年に1度は専門業者にタンクの内部点検、内部洗浄をしていただき、事故を未然に防ぎましょう！

点検のポイント

- ① タンク本体に破損や変形等がないか
- ② ストレーナーにひび割れや漏れがないか
- ③ 配管ににじみや漏れがないか
- ④ 脚部に破損、変形、傾き等がないか
- ⑤ 液面計(燃料ゲージ)の急な減少がないか
- ⑥ 給油注入口は割れていないか、ふたの開閉は可能か
- ⑦ 通気管に錆や穴はないか
- ⑧ タンク周辺や地面から灯油等のにおいはいないか、変色はないか

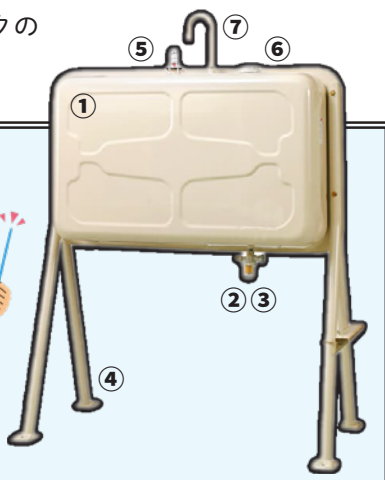


救急出場状況

(7月分)

一般負傷 4件(3人)
急病 16件(14人)

7月計 20件(17人)
累計 137件(118人)
※()内は搬送人員



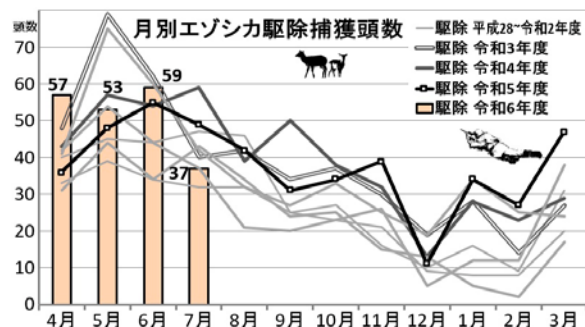
野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174

エゾシカ

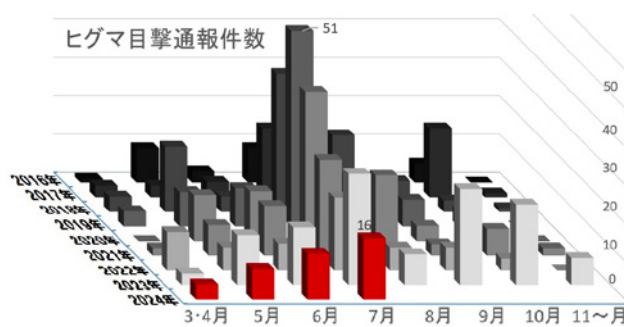
7月のシカ駆除は37頭に留まりましたが、例年の変動幅の中にあります。前月まで比較的高水準で捕れたこともあり、おおむね堅調と見ています(下図)。

夏も基本的には夜明け直後や日没直前が捕獲に適しています。昼よりは涼しいのですが、蚊やブユなど吸血性昆虫が活発なだけで、いずれにせよシカを運べば汗だくです。極端な早起きの上、夕方に捕獲があれば解体処理に後片付けしての帰宅は深夜。それでも頑張ってしまうほど、シカの捕獲はやりがいに満ちた活動なのです。



ヒグマ

私たちの生活へのヒグマの影響が最も心配される時期は、所感では7月頃です。無論、関連の見えない個々の事案の集積であり、他の時期にもさまざまあるのですが、目撃通報件数を指標にすると、例年どの年も7月のピークが明瞭です(下図)。今年も例に漏れないのですが、随分と値が小さく静かです。今年はデントコーンの食害も始まりが遅く局所的で、例年より少なく済むかもしれません。コクワやブドウ、ドングリの豊凶はまだ無関係の時期に、どうした事情なのでしょうか。興味が尽きませんね。



地域とともに

コミュニティ・スクール情報

～占冠中学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

トマム学校・占冠中央小学校との連携

5月に仙台への修学旅行(3年生)、7月に帯広への遠足(1年生)、旭川・富良野への宿泊研修(2年生)をトマム学校と合同で行いました。生徒同士の打合せをオンラインで行うなど連携を図り、互いの交流を深め、思い出に残る行事になりました。特に3年生の修学旅行は、日本三景の一つ松島観光、仙台市内の自主研修など東北の歴史や文化、自然に触れるかけがえのない体験ができました。また、6月に占冠中央小学校と合同運動会を行いました。応援合戦、リレーなどは会場が一体となって盛り上がりました。「小学1年生から中学3年生まで成長がそれぞれ見られて良かった」「寒い中、競技に一生懸命に取り組む姿が良かった」などの感想を来場者からいただきました。



小中合同運動会

地域のご支援・ご協力に感謝

地元産食材の収穫を通じて食文化への理解を深める山菜教室を5月に行いました。学校支援ボランティアの世話焼き隊の方や野生鳥獣専門員の浦田さんのご協力を得て、3年生5人が山菜の収穫、調理を行いました。調理では「とま〜る」の方にもお手伝いいただき、山菜各種の天ぷらや炒め物、おひたし、みそ汁などたくさんの山菜料理を完成させました。また、7月に民芸品加工授産所で陶芸教室を実施しました。生徒は、茶わんや花瓶などの制作に挑戦しました。全3回の本授業の講師は、世話焼き隊として活動している陶芸サークル「陶占窯」の方に引き受けていただきました。世話焼き隊の方には、他にも生徒の登下校の見守りもしていただいております。地域の皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝しております。ありがとうございます。



陶芸教室

振り返ると、中央小学校との小中一貫教育やトマム学校との合同行事、地域や保護者の皆さまからのご支援やご協力があり、他ではできない特色ある教育を生徒は体験することができました。これからも、生徒にとって充実した教育活動を推進し、ふるさとを愛し地域に主体的に関わる生徒の育成に努めていきたいと思えます。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

秋の全国交通安全運動の実施 ～ 反射材 キラリ☆と光って 事故防止～

運動期間 9月21日(土)～9月30日(月)の10日間



ドライバーの皆さんへ

歩行者や自転車を見落としやすくなる夕暮れから夜間にかけての交通事故を防ぐため、「スピードダウン」と「安全確認」を徹底しましょう。

歩行者の皆さんへ

外出時には明るい色の服装や反射材を身に付け、自分の存在を目立たせましょう。信号が青になってもすぐに横断せず、安全を確認してから渡りましょう。

自転車利用者の皆さんへ

自転車とヘルメットはワンセット！転倒や交通事故による頭部のけがは致命傷となります。自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう。

《運動重点》

- ①子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
- ②夕暮れ時と夜間の交通事故等の防止および飲酒運転の根絶
- ③自転車の交通ルール遵守の徹底
- ④スピードダウンと全席シートベルトの着用

苫鷗神社祭典 トマム夏祭り

7/31(水) ~ 8/1(木)

トマム地区の夏祭りが、宵祭・本祭の2日間にわたって開催されました。宵祭には、町内会などの出店が並び、余興のコーラ早飲み競争や豪華景品が当たるビンゴゲーム、至近距離で打ち上がる花火にと、楽しい企画がめじろ押しで大盛況でした。

本祭では、恒例の子ども神輿が「ワッショイ！ワッショイ！」と元気な掛け声とともに地域を回り、その後は神社の前でスイカ割りを楽しみました。



おさんぽ北海道 放送のお知らせ

芸人の友近さんが道内の市町村を旅するテレビ番組「おさんぽ北海道」で占冠村が放送されます。皆さんぜひご覧ください！

放送日 9月21日(土) 午後4時30分～

放送局：HBC北海道放送



この番組はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して制作されています。

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただきます。

広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。

人口・世帯数 (7月末住民基本台帳登録数)

人口 男 女 世帯数
1,415人(+11) 726人(0) 689人(+11) 992(+10)

《うち外国人の人数 389人》

中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
632人	74人	41人	668人	1人	1人	38人	26人



広報しむくっぱは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO2削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。



発行／占冠村 編集／企画商工課 印刷／(株)総北海

☎ 079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 ☎ 0167-56-2124 FAX 0167-56-2184

占冠村ではホームページを開設しています。アドレス <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>